

シカ君 と ウマ君

～ 来週の相場見通し ～

* No.0024 *

05 / 01 / 14

発行・編集 FXニューズレター

<http://www.fx-newsletter.com/>

info@fx-newsletter.com

【 1月 17日週 】

ウマ「こんにちはシカ君。先週も週末に発表された米雇用統計が波乱材料になったけど、今週も米貿易統計で相場が荒れたねえ」

シカ「うん、まったくだよ。驚いた。言い訳するようだけど、僕もある程度の悪い数字は予想していたんだ。けど、まさか 600 億ドルを超えるほどの数字、よもやそれほど貿易赤字が拡大するとはね。あれじゃあ、ネガティブ・サプライズと捉えられても仕方ないんじゃないかな」

ウマ「まあドルは、そのあと週初のレベル近くまで戻ってきているけどね。今週はいわゆる“行って来い”で終わりそうなのかな。ところでシカ君、来週の見通しは？」

シカ「う～ん、難しいよね。と言うのは 2 つの主たる要因からで、ひとつは来週以降来月の初めに掛けて、米国を中心に重要な政治イベントが多いため。そのなかでもっとも大きなものは、2 月になってからのロンドン G7 だけ、来週も米国ではブッシュ大統領の就任式(20 日)があるし、日本は通常国会が開始される(21 日から)。それらはやっぱり要注意だと思うよ」

ウマ「米国はともかく、日本の国会なんて材料になるのかな？」

シカ「確かにいつもは影響が限定的なんだけど、今回はなる公算が大きいと見ているよ。それが来週かどうかは別にして、民主党などの野党がNHK関与問題で安倍晋三自民党幹事長代理の参考人招致を求めると見られるなど、大きなネタもあることだし。ちょっと不謹慎な言い方だけど、相場的には非常に楽しみだよ」

ウマ「なるほど。難しい用語が多くてよく判んなかったけど、なんとなくニュアンスは通じたよ。ともかく波乱含みってことだね(笑)」

シカ「そうそう(笑)」

ウマ「それでシカ君、さっき言った 2 つの要因のうちひとつはなんだい？」

シカ「…。いまの相場展開の“テーマ”が僕には良く判らない。実は、それでちょっと迷っているんだけどね。先週から今週に掛けては米国の経済指標で動いたからねえ。それからするとファンダメンタルズ要因かな、って気もしくはないけど…」

ウマ「確証は持てないってこと？」

シカ「そう言うこと。金利要因もいまだにくすぶっているし、前述したようなイベント盛り沢山であることからすると、このあとは政治要因に徐々に目が向くような気もするし。

ただ、いずれにしても来週に限れば、ドル/円もユーロ/ドルも基本的には今週のレンジ程度の値動きには留まるんじゃないかな」

ウマ「OKありがとう。非常に参考になったよ。

ところで、そういえば先週シカ君が言ったように、【鹿の角】さんが担当している“邯鄲の夢”で本国投資法について解説していたね」

シカ「でしょう？ 未読の人は、一度見てみると良いよ…」

ウマ「今週も最後はやっぱり宣伝で締めですか(笑)」

(了)

当レターは、情報提供のみを目的としたものです。内容に関して正確であるよう注意を払っておりますが、その正確性を保証することはできません。投資や運用にあたっての最終的な判断は、あくまで読者自身の責任と判断によって、ご利用いただくようお願い申し上げます。

なお、本稿の無断転載・転送もご遠慮ください。

Copyright (C) fx-newsletter All Rights Reserved

FX-newsletter